

防犯運動に一役

小・中学生の作品

370点を展示

十月十三日から十九日まで、市役所一階ロビーで「少年展」が開かれました。

これは、南国地区防犯協議会、交通安全協会南国支部、南国警察署が主催して、防犯運動の一環として行われたものです。

小、中学生から応募された八百六十点の図画、毛筆書写、作文の



市長が入賞者に記念品を手渡した

うち、三百七十点が入賞、十三日には、特選、優秀の三十五人に小笠原市長から賞状と記念品が手渡されました。

展示された入賞作品は、いずれも持ち味のある内容の優れた力作ばかりで、来庁した市民の目を惹かせていました。

特選に選ばれたのは次の皆さんです。(敬称略)

防犯部門

○図画 宮崎和子 (岡豊小五年)

▼大和田よしひと (十市小二年)

南国獵友射撃クラブが

賞品代などを寄付

南国獵友射撃クラブ (西川清雄会長、会員三十五人) のチャリティー射撃大会が、十月十六日に芸西村のミロク国際クレイ射撃場で開かれました。

同クラブは射撃のマナーの向上と事故防止のために八年前に発足。年四回大会を開いて会員同志の親睦を深めています。そのうちの一回をチャリティーとし、賞品代や当日の会員からの寄付を施設へ贈っています。

七回目の今年は二十二人が参加。スキート競技とトラップ競技に分かれて腕を競った後、西川会長から「わずかですが、元気に射撃を

▼岡志野 (北陵中一年) ▼北野多樹子 (北陵中三年)

○毛筆書写 窪田まき (久礼田小四年)

▼溝淵雅子 (後免野田小五年)

▼岡崎佐和子 (香長中一年)

▼高橋和美 (香南中三年)

○作文 森田雅代 (香長中三年)

▼黒河秀樹 (北陵中一年)

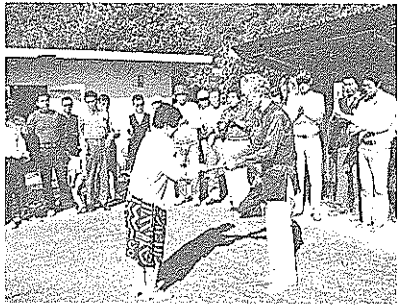
交通部門

○図画 土居志穂 (十市小一年)

▼上村純也 (鵜ケ池中三年)

○毛筆書写 山本絵理 (香長中二年)

させていただいているお礼です」と現金六万円余りが土佐希望の家の高安千代子事務長に手渡されました。



西川会長から高安事務長に

あゆみ ああ、お前もか

家庭教育学級専任講師 田植 静代

ある小学校の校長先生の体験の話です。

先生がとても疲れて、学校から家へ帰ってきました。玄関を開けて入るなり、「ただいま。あーあ、今日は疲れたよ」と、大きな声で言いました。

すると奥さんが首だけ出して、「あんただけが疲れているわけじゃないのよ。私もとても疲れているのだから」と言って、首を引っ込めました。

先生はその言葉を聞いた瞬間、ぐっと腹が立ちました。けれど胸をおさえて、女房のやつ、今日はばかに機嫌が悪いなあと思ひ、気を取り直して、奥さんに次のような言葉を投げかけました。「ああ、お前もか。今日は早めに寝るようにしなさいよ」と言って、部屋に上がりました。

そうしたら、首だけ出して迎えた奥さんが立ち上がって、上着もとってくれ、その日の夕食はいつものように、楽しくすすむことができました。

もし、「私も疲れているのよ。」の言葉に対して、夫に向かつてなんという迎え方だと腹を立てていたか、夫婦げんかになっていたか

もしないし、そうでなくてもなにか味気ない夕食であったかもしれません。

奥さんはその日、何か仕事をしていてとても疲れていたのでしょう。体が疲れると気分まで悪くなります。外から帰った者は、当然のように疲れたを発するが、家の中の仕事でも疲れることはあるのだという反発の気持ちがあつたかもしれない。

ところが先生は、ぐっと腹の立つのをおさえ、「お前も疲れているのだね。早くおやすみ。」という言葉をかけたことが、奥さんの気持ちを和らげたのではないのでしょうか。

それは奥さんを認めた言葉だったからです。人間はいつも自分のことを認めてもらいたいという気持ちが強いものです。

認められると慰められます。認められるとうれしく、やる気がおこります。

夫は妻を、妻は夫を、親は子を、子は親を、互いに認め合い、その言葉をかけ合うことが、家庭円満で楽しい生活の元になるのだと思うのです。